

国際農業工学レポート

課題

国際協力における国際開発コンサルタントの役割について述べよ。また、本日の後半の講義で最も印象に残ったキーワードを一つ取りあげ、その理由を述べよ。

国際開発コンサルタントの役割

将来にわたり安全で安定的な水と食料を確保していくには、環境、人口、貧困など、地球規模で発生している諸問題を解決する必要がある。NTC インターナショナルは、農村・地方・地域資源に対する豊富な経験と知識を通じ、7つの分野で安全保障に貢献している。それぞれの分野は、①農業・農村開発②水資源・防災③コミュニティ開発・地域開発④自然環境保全・環境管理⑤研修事業・研修プロジェクト⑥紛争予防・平和構築⑦エネルギー開発、と多岐にわたっている。具体例として、ブルンジ共和国での国際協力を簡単に説明する。ブルンジでは2006年まで約40年続いたツチ族とフツ族の民族紛争により、社会経済指標が軒並み低下した。内戦終結後も、大量の難民帰還と紛争による土地の荒廃によりGDPの50%以上を占める農業が大打撃を受け、食料・土地不足が深刻な問題が生じた。この問題に対処するため、交通インフラを中心とする経済基盤設備等を通じ、基礎生活環境改善の支援、国外からの帰還民や国内避難民の多い地域では地域開発計画策定支援を実施した。これらの支援で平和の定着と経済活動の両立を図り、平和構築に貢献している。

(参考: <http://www.ntc-i.co.jp/solution/solution.html>)

印象に残ったキーワード 縁と運

今回の講義は、発展途上国でのインフラ整備や平和構築という形での国際協力の話だったが、技術や資本よりも「縁と運」「出会いと機会」といった人と人との関わり合いが一番重要だということは全ての分野に通ずる考え方だと改めて思った。どんな分野に進むにしろ、この当たり前に思われることを日々心にとめて仕事ができる人を目指していきたいと思った。